

<目 標> 「知の活用」と「物事の本質を見抜く力」の育成

1	今年度の達成目標	自然の事物・現象に進んでか かわり、これらの理解を深め ると共に科学的に探究する 能力の基礎と態度を育てる。 私学テスト SS55	担 当 教 師
2	<p>理科科の指導の重点</p> <p>&lt;授業の指導の重点&gt;</p> <p>(1) 学習時間の確保・・・ 公立中学より週あたり 1 時間多い、4 時間（物理分野・地学分野 2 時間、生物分野・化学分野 2 時間）で展開します。</p> <p>(2) 授業展開・・・・・・・・・・ 教科書の内容を中心に観察・実験を多く取り入れます。</p> <p>(3) TT 制の授業・・・・・・・・・・ 授業の一部を、TT（チーム・ティーチング）で行います。</p> <p>(4) 参加型の授業・・・・・・・・・・ 少人数での実験・iPad 活用・課題発表など主体的に学ぶ機会を多く設けます。</p> <p>(5) デジタル教材の活用・・・・・ デジタル教科書、放送動画等を利用します。</p> <p>(6) 補習学習の充実・・・・・・・・・・ 長期休業中の課題等、くり返し学習による基礎的基本的学習内容の定着のために補助教材を活用して随時行います。</p> <p>&lt;観察・実験&gt;・・・・・・・・・・ 観察・実験を多く取り入れることで、目的意識をもって自然の事物・現象に進んでかかわります。</p> <p>&lt;関連行事への参加&gt;</p> <p>○科学館見学・・・・・・・・・・ 事前・事後学習を含めて最新の科学分野を体験します。</p>		
3	指導教科書	新しい科学 1 年（東京書籍）	
4	補助教材	i ワーク 理科 1 年（新学社）	
5	評価・評定	<p>* 成績は、定期テスト・小テスト・授業中の取り組みなどを総合して評価します。</p> <p>* 評価は、「観点別評価」で行います。</p> <p>(1) 日頃の観察や小テストなどで「100 点／30%換算」します。</p> <p>(2) 定期考査で「100 点満点／70%換算」します。</p> <p>(3) 評価の観点（3 項目）</p> <p>    * 知識・技能</p> <p>    * 思考・判断・表現</p> <p>    * 主体的に学習に取り組む態度</p>	

《家庭へのお願い》

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、予習、復習を必ず行わせてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノートを持参させてください。

理科科指導計画 生物分野・化学分野

	教科行事	単元	学習内容	達成目標(Can-Do)
4月	私学テスト	1いろいろな生物とその共通点 ○生物の観察と分類のしかた	・身近な生物の観察〔観察〕 ・生物の特徴と分類〔実習〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○生物の調べ方の基礎となる実験器具の操作、観察記録のしかた方を身につけことができる。
5月	中間考査	○植物の分類	・身近な植物の分類 ・果実をつくる花のつくり〔観察〕	★考査で70点をとることができる。 ○植物の体のつくりの特徴にもとづいて、植物を区別することを理解できる。
6月			・裸子植物と被子植物〔観察〕 ・花をさかせず種子をつくらない植物〔観察〕 ・さまざまな植物の分類	○種子をつくる植物と種子をつくらない植物のちがいを理解することができる。 ○植物のつくりのちがいから植物が分類できることを理解し、身近な植物を分類することができる。
7月	期末考査	○動物の分類	・身近な動物の分類 ・セキツイ動物 ・無セキツイ動物〔観察〕	★考査で70点をとることができる。 ○動物の体のつくりの特徴にもとづいて、動物を分類することができる。 ○セキツイ動物と無セキツイ動物の違いを理解することができる。
8月	夏季講習 夏季合宿		夏休みの課題	★中1修了レベルの問題で60%を正解することができる。
9月	私学テスト		・動物の分類表の作成〔実習〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○動物のつくりのちがいから動物が分類できることを理解し、身近な動物を分類することができる。
10月	中間考査(I)	2身のまわりの物質 ○身のまわりの物質とその性質	・物の調べ方 ・金属と非金属〔実験〕 ・さまざまな金属の見分け方〔実験〕 ・白い粉末の見分け方〔実験〕	★考査で70点をとることができる。 ○物質の固有の性質と共通の性質を見出すことができる。 ○物質の見分け方について理解することができる。
11月	科学館見学	○気体の性質	・身のまわりの気体の性質〔実権〕 ・気体の性質と集め方	○気体の性質のちがいによって区別することを理解することができる。
12月	中間考査(II)	○水溶液の性質	・物質が水にとけるようす ・溶解度と再結晶〔実験〕	★考査で70点をとることができる。 ○水溶液の特徴を理解することができる。 ○それぞれの性質を調べる実験から実験技能を身につけることができる。
1月	私学テスト	○物質の姿と状態変化	・物質の状態変化 ・状態変化するときの体積・質量の変化〔実験〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○状態変化について日常生活と関連づけて理解することができる。
2月			・状態変化と温度〔実験〕	○体積と質量の関係から、物質に対する見方を養うことができる。
3月	期末考査			★考査で70点をとることができる。

理科科指導計画 物理分野・地学分野

	教科行事	単元	学習内容	達成目標(Can-Do)
4月	私学テスト	3身のまわりの現象 ○光の世界	・物の見え方〔実験〕 ・光の反射〔実験〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○光の事象を日常生活と関連づけることができる。
5月	中間考査		・光の屈折〔実験〕 ・レンズのはたらき〔実験〕	★考査で70点をとることができる。 ○光の規則性や性質を理解することができる。
6月		○音の世界	・音の伝わり方〔実験〕 ・音の性質〔実験〕・日常生活のなかの力	○音の規則性や性質を理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけることができる。
7月	期末考査	○力の世界	・力のはかり方〔実験〕 ・力の表し方	★考査で70点をとることができる。 ○大きさと向きによって、力が表されることを理解することができる。
8月	夏季講習 夏季合宿		夏休みの課題	★中1修了レベルの問題で60%を正解することができる。
9月	私学テスト		・力のつりあい〔実験〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○力のつりあいについて理解することができる。
10月	中間考査(I)	4大地の変化 ○火をふく大地	・身近な地形や地層、岩石の観察〔観察〕 ・火山の姿からわかること	★考査で70点をとることができる。 ○火山の形とマグマの性質を関連付けることができる。
11月	科学館見学		・火山がうみ出す物〔観察〕 ・火山活動と火成岩〔観察〕 ・火山とともにくらす	○火成岩と深成岩のちがいを理解することができる。
12月	中間考査(II)	○動き続ける大地	・地震のゆれの伝わり方〔実習〕 ・地震が起こるところ	★考査で70点をとることができる。 ○地震の伝わり方の規則性を理解することができる ○地震の原因を地球内部の動きと関連付けることができる。
1月	私学テスト	○地層から読み取る大地の変化	・地震に備えるために ・地層のつくりとはたらき ・堆積岩〔観察〕	★模擬試験の70%を正解することができる。 ○減災・防災意識を高めることができる。 ○地層のしくみについて理解することができる。
2月			・地層や化石からわかること ・大地の変動 ・身近な大地の歴史〔観察〕	○地層と化石を手がかりとして、過去の環境と地質時代を推定することができる。
3月	期末考査			★考査で70点をとることができる。